

クラウドシアホールディングス (コード 3607)

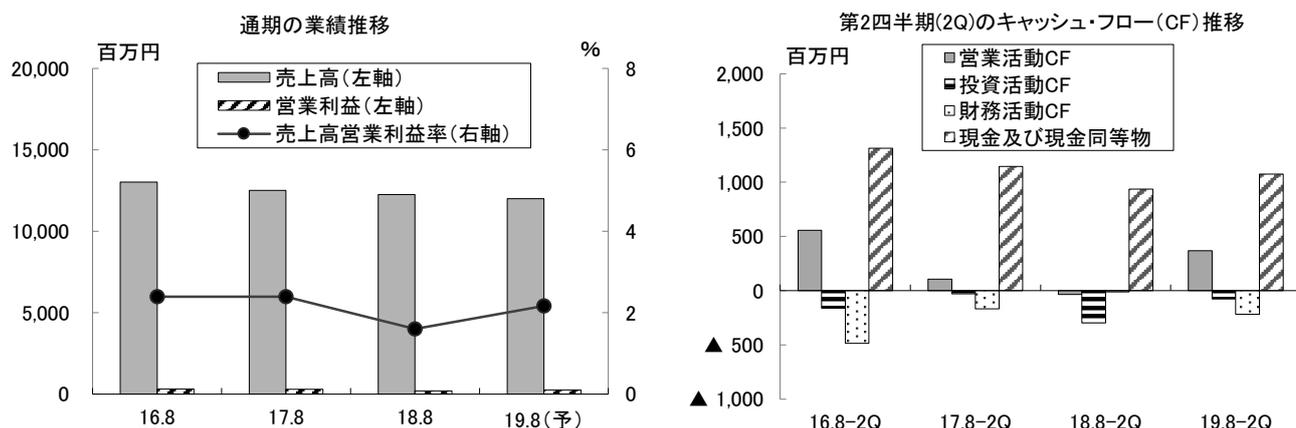
◆各決算期の第2四半期業績推移(連結)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
16.8	6,692	174	1.2	5.0	558	▲162	▲485	1,314
17.8	6,415	334	60.7	8.0	106	▲30	▲167	1,145
18.8	6,409	172	10.0	8.0	▲34	▲297	▲12	936
19.8	6,209	399	40.5	8.0	367	▲77	▲218	1,076

◆通期業績推移(連結) (19.8 予は会社側予想)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
16.8	13,020	311	▲190.7	15.0	1,225	▲205	▲1,190	1,222
17.8	12,514	299	73.1	16.0	319	▲87	▲183	1,279
18.8	12,251	196	1.2	16.0	643	▲344	▲575	1,000
19.8予	12,000	260	17.3	16.0	—	—	—	—

(CF=キャッシュ・フロー。現金及び現金同等物は各期末値。▲はマイナス。単位は百万円、円)



19年8月期の第2四半期業績概況…19年8月期の第2四半期累計期間(18年9月～19年2月)の業績は、売上高62億900万円(前年同期比3.1%減)、営業利益3億9,900万円(同131.6%増)、経常利益4億5,600万円(同132.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益(以下、四半期純利益)3億5,100万円(同307.5%増)となった。売上高は減少したものの、売上原価率が25.3%(前年同期は30.0%)に低下したことなどから、営業利益、経常利益、四半期純利益は大幅な増益率となった。当四半期末の1株当たり配当金は8円となっている。

事業部門別売上高は、ホールセール事業部門16億9,500万円(前年同期比0.9%減)、コンシューマー事業部門45億1,300万円(同3.9%減)となった。ホールセール事業部門のうち、製・商品売上高が9億6,600万円(同11.6%減)、レンタル収入等が7億2,800万円(同18.1%増)。また、コンシューマー事業部門のうち、衣取扱収入が17億9,800万円(同0.4%減)、リゾート挙式売上高が11億4,400万円(同20.6%減)、式場運営収入が12億6,700万円(同8.2%増)、写真・映像・美容売上高が3億300万円(同8.2%増)となった。

ホールセール事業部門では、18年8月期に取扱いを開始した有名ブランドドレスの売上寄与やリース事業(貸衣裳店向けレンタル)が堅調に推移したレンタル収入等は増加したものの、製・商品売上高が苦戦した。コンシューマー事業部門においては、衣取扱収入がほぼ前年同期並みとなり、リゾート挙式売上高では沖縄が伸長したもののハワイが減少し、グアムについては挙式

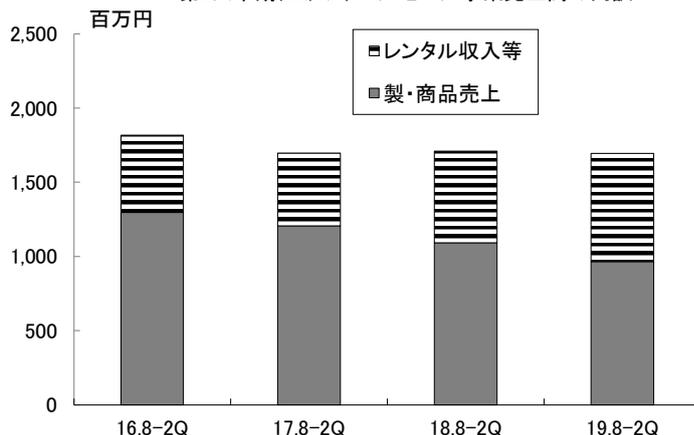
取扱いを廃止した。式場運営収入については、「アイネス ヴィラノッツェ 宝ヶ池」(京都市左京区)や「アイネス ヴィラノッツェ オーシャンポートサイド」(大阪府泉佐野市)の受注状況が改善し、受注組数は317組(前年同期比39組増)、施行組数も334組(同21組増)に増加。写真・映像・美容売上高についても堅調に推移した。

キャッシュ・フロー(以下、CF)の状況については、当四半期末の現金及び現金同等物残高は10億7,600万円(前年同期末比15.0%増)となった。営業活動によるCFでは、税金等調整前四半期純利益が4億9,600万円(前年同期比183.4%増)、役員退職慰労引当金の減少額が3億9,900万円(同850.0%増)、売上債権の増加額が1億4,100万円(同54.8%減)、仕入債務の減少額が2,100万円(前年同期は増加額1億5,800万円)、長期未払金の増加額が3億9,800万円(同減少額500万円)、法人税等の支払額が1億3,000万円(同還付額2,400万円)となったことなどから、営業活動に伴う収入が3億6,700万円(同3,400万円の支出)となった。投資活動によるCFでは、定期預金の払戻による収入が4,400万円(同無し)、有形固定資産の取得による支出が1億7,100万円(前年同期比17.9%

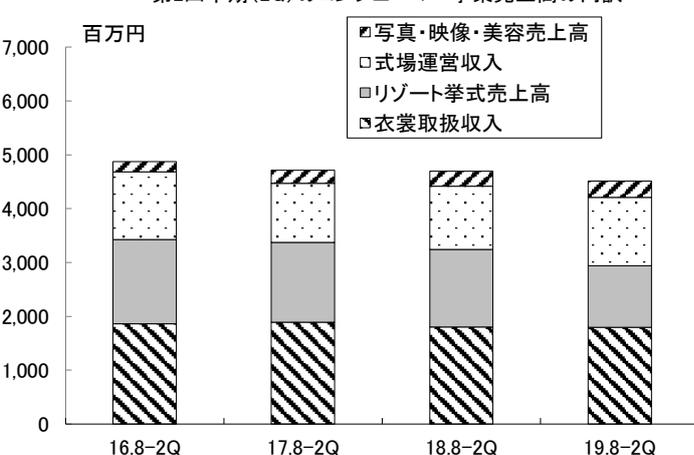
増)、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入が4,000万円(前年同期は無し)となったことに加え、前年同期に1億5,100万円あった建設協力金の支払による支出が当四半期に無かったことなどにより、投資活動に伴う支出は7,700万円(前年同期比74.1%減)に。財務活動によるCFでは、長短借入金の借入及び返済による差引収支が1億3,600万円の支出(前年同期は7,300万円の収入)、配当金の支払額が6,900万円(前年同期並み)となったことなどから、財務活動に伴う支出は2億1,800万円(前年同期比1,716.7%増)になった。

**19年8月期の通期業績見通し**…19年8月期の通期業績は、売上高120億円(前期比2.1%減)、営業利益2億6,000万円(同32.5%増)、経常利益3億円(同11.0%増)、当期純利益1億5,000万円(同1,400.0%増)の見通しで、18年9月28日時点での会社側発表値から変更は無い。1株当たりの年間配当金は前期実績と同じく16円の予定。

第2四半期(2Q)のホールセール事業売上高の内訳



第2四半期(2Q)のコンシューマー事業売上高の内訳



本レポートは、会社側が発表した決算短信や決算説明資料などに基づき作成しており、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。